

合力米

從シ、或ハ遠國ニ出役スル時ハ、旅費及ビ雜費ヲ給スルコト各、差アリ、  
救金ハ、病中忌中若シグハ見習トシテ勤役スル時ニ給スルモノニシテ、扶助米ハ家名斷絕  
者ノ遺族ニ給スル月俸ナリ、

無足ハ部屋住ニシテ、單ニ米俸又ハ金俸ノミヲ給スルモノヲ謂フナリ、

〔吏徵布衣以上〕大御番頭拾貳人

老中支配

五千石高 二條大坂在番御合力米分應 一倍一万石以上

○按ズルニ、大番組頭及ビ大番ノ、二條、大坂ニ在番ズルモノモ亦之ニ準ジテ、同ジク合力米ア  
リ、

〔吏徵御目見以上〕二條御城御門番頭二人

所司代支配 京都在住 持高 御合力現米百廿石

○按ズルニ、此外二條、大坂、駿府ノ金、鐵砲、弓、武具等ノ奉行、及ビ長崎、大坂、駿府等ノ目付ニモ合  
力米アリ、

〔勘契備忘記中元祿十一寅年〕

二條大坂在番并役人御切米皆米ニ而相渡候御書付

二條大坂在番之大番頭御番衆并與力同心御合力米、近來米金兩様ニ相渡候、向後先年之通、不殘  
米ニ而相渡候、尤二條大坂定役之面々も右同前之事、

當時ハ米金兩様ニ相成

寅八月

一二條在番之組頭共、此度御足高ニ准じ、御合力米も一倍被下置候儀ニ奉存候、

御附紙 書面之通被下候間、○問疑 大御番頭へ申渡候間、得其意可被談候、